

環境共生地域学特論Ⅰ (2単位)

担当者氏名 板垣啓四郎

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

主として開発途上国を中心にして、農業・農村の実態を踏まえつつ、その成長と発展に必要な処方策を考究していく。また、その内容が受講者の学位論文の理論的基礎となるように習得してもらう。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

途上国の農業・農村開発 食料・資源問題 経済と農業の開発戦略 途上国間の農業の特徴
 貧富の格差 ジェンダーと開発 経済機会へのアクセス 農業主体

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	農業開発経済学の紹介	環境と共生した途上国農業・農村開発のあり方を検討していく	指定したテキストにしたがって、講義を進めるので、次回の授業の範囲について予習をしておく。
2・3	世界の食料と開発問題	世界の食料問題と農業開発の課題を明らかにしていく。	
4・5	同上		
6・7	同上		
8・9	開発理論と成長戦略	これまでの途上国経済開発理論を振り返り、どういう成長戦略が存在してきたのかを明らかにする。	
10・11	同上		
12・13	同上		
14・15	ディスカッション	学習してきた内容を踏まえ、自分の学位論文のテーマに沿った議論を展開していく。	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

農業開発の経済学 G.W.ノートンほか著 板垣啓四郎訳 青山社 (2012年)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

レポート 30%、課題 70%

◆オフィスアワー

毎週水曜日の3次限 (13時～14時30分)

◆その他受講上の注意事項